

コンサート事業

シンフォニー・ブラランチコンサート



関本昌平先生

11月20日(木) 平日11時、関本昌平さん(正会員)が第1回シンフォニー・ブラランチコンサートに出演、700人以上の聴衆の前に、オール・シヨパン・プログラムを披露しました。

『平日午前にコンサートを聴くという流れを作りたい』(福田成康・ピティナ専務理事)、『次世代を担う人材に新たなチャンスを作りたい』(喜多弘悦・ザ・シンフォニーホールゼネラルマネージャー)との思いから、両団体が初のタッグを組んで始まった全6回シリーズ。グランプリやアドバイザーでも大活躍の次世代を担うピアニス



トたちがこれからも続々と出演します。

会場には、会員の先生方も多数ご来場され、「ピーンと張り詰めた空気の中をどこまでも響きわたるPPから会場全体に鳴り響く音まで、音色が多彩で、酔いしれてしまいました。(今野万実先生)」「華やかなシヨパン集での幕開け。関本さんのトークで始まり、会場全体が和み一体化されたようなコンサート(告野雅子先生)」「プレリユード(全曲)は、関本さんの新しい世界を展開されていて、大変感動しました。(中西利果子先生)など演奏会を満喫しつつ、終演後に先生方同士でランチ交流されるなど、平日午後、土日ともに多忙なピアノの先生方にとつての特別なひとときとなりました。

学校クラスコンサート

2014年11月から2015年1月には、全国39校で学校クラスコンサートが開催されました。

2014年11月10日(月)には、富山にいかわステーション(代表:畠山美佳先生(指導会員))主催のもと、魚津市立経田小学校にて学校クラスコンサートが行われました。演奏者には、11月8日・9日にステップ富山新川地区でアドバイザーを務めたドウオール(藤井隆史&白水芳枝)とともに正会員)が登場。もともと連弾でのプログラムであったにも関わらず、音楽室にグランドピアノの他に真新しいアップライトピアノがあるのを見て、急遽2台ピアノのプログラムも追加。目をつむって曲を聴きながら、浮かんだイメージを絵に描き出していったり、アップライトピアノの